

「地域社会」に新たな価値を提供し続ける企業へ

株主通信

第62期 上半期事業報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで

証券コード:9956



バローグループの原点を堅持しつつ、 変化に向き合いながら、中長期的な成長を実現してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

バローグループの2019年3月期第2四半期決算は、営業収益が24期連続増加となり過去最高を更新するとともに、店舗収益の改善を課題とする主要3事業（スーパーマーケット、ドラッグストア、ホームセンター）の寄与により各段階の利益も増加し、中期3ヵ年経営計画は概ね順調な滑り出しとなりました。

中間期の配当金につきましては、前期より1円増配し、1株当たり22円といたします。また、期末配当金は1株当たり26円とし、年間配当金は3円増配の48円とする予定です。配当金につきましては、中長期的な事業展開に備えた設備投資の継続や、企業体質強化のための内部留保の充実に留意しつつ、株主様に対して安定的かつ継続的な利益還元を行ってまいります。

さて、当社グループは、「店舗数から商品力へのパラダイムシフト」を基本方針とする中期3ヵ年経営計画をスタートさせ、標準的店舗の量的拡大に拠らず、商品力を軸とした競争

力あるフォーマットへの転換を図るため、スーパーマーケット事業で改装を、ドラッグストア事業ではリロケーションを中心に進めました。また、新たな成長軸の確立に向けては、スポーツクラブ事業でフィットネスジムの出店を加速したほか、リアル店舗で対応しきれていない需要を取り込むため、前期に子会社化した株式会社ファーストのシステムを基盤に、株式会社ホームセンターバローがECに着手しました。

当第2四半期にかけて売上の回復が見られた株式会社バローでは、新設・改装店舗において、強化カテゴリーを軸に従来の売場構成を大幅に変更するとともに、グループの調達、製造・加工機能を活かした商品を訴求しました。今後、商品の魅力をさらに高めながら、この転換を加速してまいります。

現在、流通業界は変革期を迎えています。少子高齢化が進み、市場が縮小に向かう中、企業再編の動きが出始めています。また、スマートフォンの普及に伴い成長を続ける無店舗販売や多様化する決済手段は、リアル店舗が抱えてきた物理的な問題を越え、消費者のライフスタイルの変化ともあいまって、更に進化しようとしています。バローグループは、創業期からの「店はお客様のためにある」という原点を堅持しつつ、変化に向き合いながら、自らの存在意義を問い続け、中長期的な成長を実現してまいります。

株主の皆様には、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社バローホールディングス
代表取締役会長兼社長

田代正美

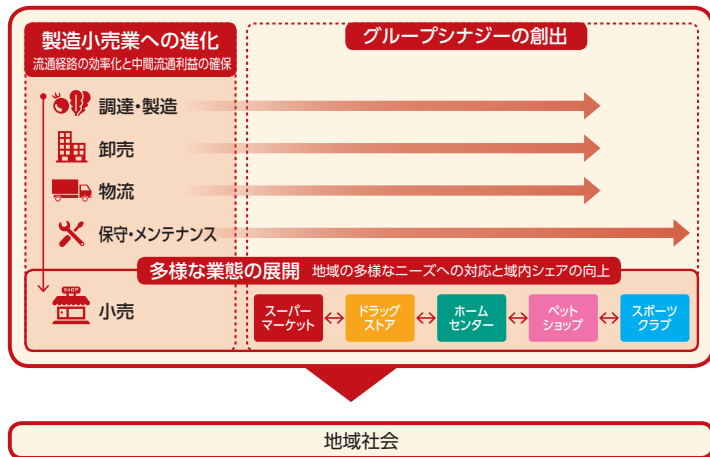
ビジネスモデル

バローグループでは、スーパーマーケット事業を支えてきた調達・製造、物流等の機能を他の事業へ適用するとともに、多様な業態を組み合わせることで店舗網を構築するなどして、グループシナジーを創出しています。このビジネスモデルを基盤とし、商品力の強化を軸に企業体質の強化を図ってまいります。

社会的課題



バローグループのビジネスモデル



バローグループの解決策



基本方針 店舗数から商品力へのパラダイムシフト

当社グループは、「店舗数から商品力へのパラダイムシフト」を基本方針とする中期3ヵ年経営計画をスタートさせました。競争力あるフォーマットへの転換を図るため、スーパーマーケット事業で改装を、ドラッグストア事業ではリロケーションを中心に進める一方、新たな成長軸の確立に向けて、スポーツクラブ事業でフィットネスジムの出店を加速しました。

1 競争力のあるフォーマットへの転換

スーパーマーケット事業では2018年7月、「スーパーマーケットバロー下恵土店」(岐阜県可児市)を移転新設するとともに、「スーパーマーケットバロー国高店」(福井県越前市)の建替え・増床を行いました。

ドラッグストア事業では、店舗敷地内にあるスーパーマーケットバローの増床に先立ち、2018年4月に「V・drug岩村店」(岐阜県恵那市)を移転新設しました。7月には、「V・drug日進栄店」(愛知県日進市)、「V・drug茜部本郷店」(岐阜県岐阜市)、「V・drug下恵土店」(岐阜県可児市)を移転増床し、医薬品・化粧品の商品揃えを拡充しています。



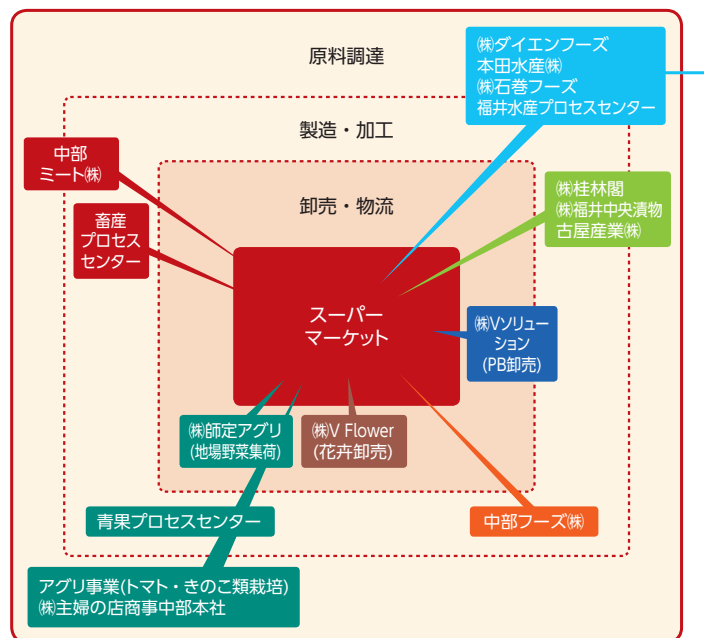
◀スーパーマーケット
バロー国高店



▶V・drug岩村店

既存店の強化を課題とするスーパーマーケット事業では、商品の魅力で商圏拡大や地域シェアの向上を図ろうと、改装を通じて売場構成を大幅に変更し、生鮮・惣菜を強化するとともに、当社グループで調達、製造・加工した商品の魅力を訴求しています。

スーパーマーケットの商品力向上を支えるグループ企業・インフラ



▲本田水産(株)の金華さば



▲(株)石巻フーズの牡蠣

2 製造小売業への進化

惣菜の製造・販売を担う中部フーズ株式会社では商品開発を進め、弁当・丼17種をリニューアルするとともに、旬の野菜を使った和惣菜を導入し、「国産なすの揚げ浸し」が夏のヒット商品となったほか、秋にかけて「さといもの旨煮」が安定した売上を維持しました。また、前期より育成してきた「三元豚のやわらかロースかつ重」や焼そば・たこ焼きも順調な販売が続きました。

2018年9月、惣菜専門店3号店となる「デリカキッチンヶ丘店」(愛知県名古屋市長東区)を開設しました。これまでの展開を踏襲しながらも、同店では焼きたてパンの提供やイートイン・スペースの設置など、新たな試みを取り入れています。



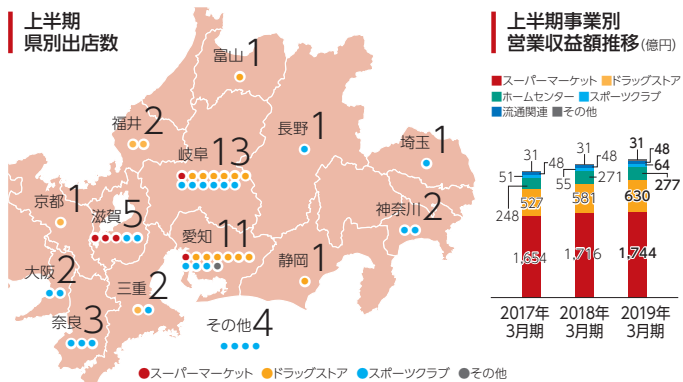
▲昼食だけでなく夕食需要へも対応



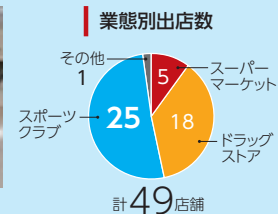
▲美味しさにこだわった焼きたてパン

3 新たな成長軸の確立

当社グループは、当第2四半期累計期間に49店舗を開業しました。ドラッグストア事業が愛知県・岐阜県を中心に18店舗を開業するなど、高水準の出店を継続したほか、中期3カ年経営計画に沿って、スポーツクラブ事業が低投資かつ月会費を抑えたフィットネスジム「Will_G（ウィルジー）」の出店を加速しました。なお、当第2四半期にはフランチャイズ（FC）店舗を拡大しています。



●「Will_G」の出店を加速するスポーツクラブアクトス



リアル店舗と共生する事業の育成

少子高齢化の進展や運転免許証を自主返納する高齢者の増加など、社会環境の変化を受けて、地域社会では買物弱者への対応が課題となっています。当社グループでは、地域社会に対するサービスレベルの維持・向上を図るべく、2018年4月より移動販売車による食品販売を開始しました。現在、同事業は岐阜県瑞浪市、可児市、恵那市、多治見市の計4箇所で開催しています。

また、ホームセンターパローでは、資材・工具の分野で品揃えや価格で競争力を持つインターネット販売業の影響が顕在化しつつあることから、前期に子会社化したインターネット販売業の株式会社ファーストのシステムを基に、2018年9月、モール型ECサイトへ出店しました。店頭販売とは異なる販売動向を把握しながら、今後リアル店舗と併せて育成してまいります。



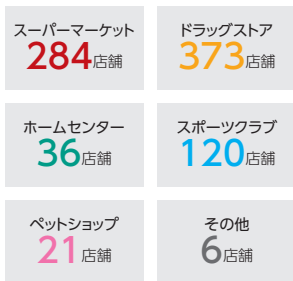
▲岐阜県可児市で開始した移動販売

上半期新規出店状況

- | | |
|---|---|
| <p>4月 1日 ●スポーツクラブアクトスWill_Gダイエー海老名(神奈川)
●スポーツクラブアクトスWill_G南摂津(大阪)
●スポーツクラブアクトスWill_G大和郡山(奈良)
●スポーツクラブアクトスWill_G白井(千葉)</p> <p>4月 2日 ●V-drug袋井久能薬局(静岡)</p> <p>4月 9日 ●V-drug池田調剤薬局(岐阜)</p> <p>4月 11日 ●V-drug岩村店(岐阜)</p> <p>4月 12日 ●V-drug米野木店(愛知)</p> <p>4月 19日 ●V-drug東郷江店(福井)</p> <p>4月 20日 ●スーパーマーケットパロー大丸薬田店(愛知)</p> <p>4月 26日 ●V-drug長良西店(岐阜)
●V-drug大丸薬田店(愛知)</p> <p>5月 1日 ●スポーツクラブアクトス高山(岐阜)
●スポーツクラブアクトスWill_Gヤオコー幸手(埼玉)
●スポーツクラブアクトスWill_G福岡新宮(福岡)</p> <p>5月 7日 ●V-drug掛尾南薬局(富山)</p> <p>5月 17日 ●V-drug中川野田店(愛知)
●V-drug宝神店(愛知)</p> <p>6月 1日 ●スポーツクラブアクトスWill_Gホームズ蘇我(千葉)
●スポーツクラブアクトスWill_Gイオンタウン伊賀上野(三重)
●スポーツクラブアクトスWill_Gコノミヤ武豊(愛知)FC</p> <p>6月 7日 ●V-drug羽島北店(岐阜)</p> <p>6月 21日 ●V-drug豊川千歳店(愛知)</p> <p>7月 1日 ●スポーツクラブアクトスWill_G土浦びあタウン(茨城)
●スポーツクラブアクトスWill_G三洋堂川辺(岐阜)</p> | <p>7月 1日 ●スポーツクラブアクトスWill_G芥見(岐阜)FC
●テニスクラブアクトス芥見(岐阜)</p> <p>7月 4日 ●V-drug日進栄店(愛知)</p> <p>7月 5日 ●V-drug宇治横島店(京都)</p> <p>7月 13日 ●スーパーマーケットパロー下恵土店(岐阜)</p> <p>7月 18日 ●V-drug西部本郷店(岐阜)</p> <p>7月 25日 ●V-drug下恵土店(岐阜)</p> <p>8月 1日 ●スポーツクラブアクトスWill_Gコノミヤ可児(岐阜)
●スポーツクラブアクトスWill_Gケースデンキ若大津(滋賀)
●スポーツクラブアクトスWill_G壘田ブライズプラザ(滋賀)
●スポーツクラブアクトスWill_Gワッスル天理(奈良)
●スポーツクラブアクトスWill_G三洋堂瑞浪中央(岐阜)FC
●スポーツクラブアクトスWill_Gミズナラ(奈良)FC</p> <p>8月 29日 ●フタバヤ長浜店(滋賀)*
●フタバヤ近江店(滋賀)*
●フタバヤ彦根店(滋賀)*</p> <p>8月 30日 ●V-drug川越店(三重)</p> <p>9月 1日 ●スポーツクラブアクトスWill_G江北センター南(神奈川)
●スポーツクラブアクトスWill_GPLピコプラザ船本坂南(長野)
●スポーツクラブアクトスWill_G三洋堂小牧(愛知)FC
●スポーツクラブアクトスWill_Gホームズ複原川(大阪)FC
●デリカキッチン星ヶ丘店(愛知)</p> <p>9月 3日 ●V-drug舟橋新町薬局(福井)</p> <p>9月 16日 ●スポーツクラブアクトスWill_G瀬戸愛野(愛知)</p> |
|---|---|

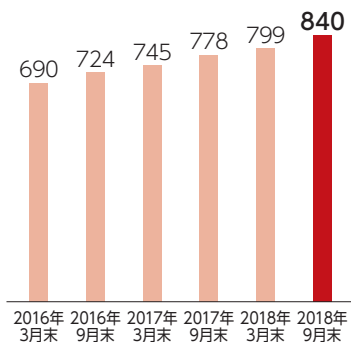
注*：2018年8月、株式会社フタバヤを子会社化いたしました。

業態別店舗数

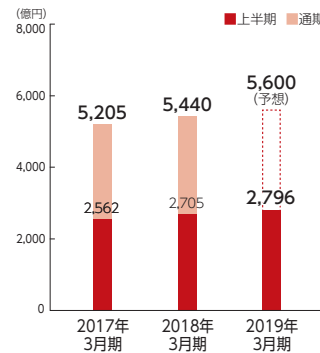


計 **840** 店舗

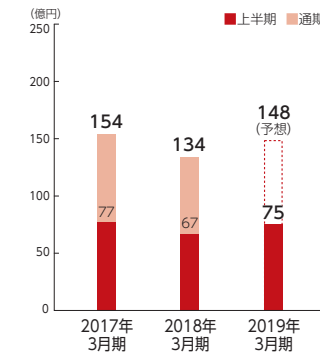
店舗数推移



営業収益

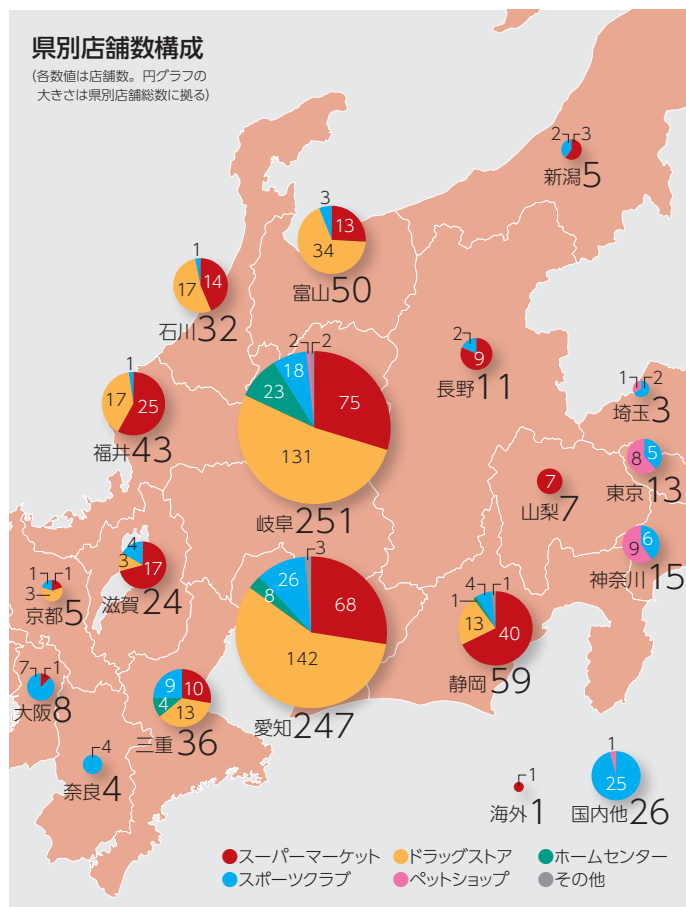


営業利益

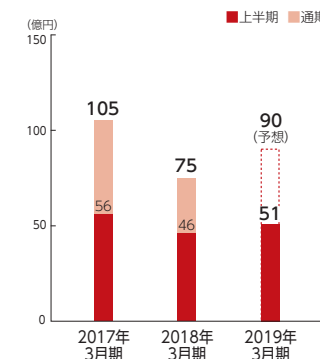


県別店舗数構成

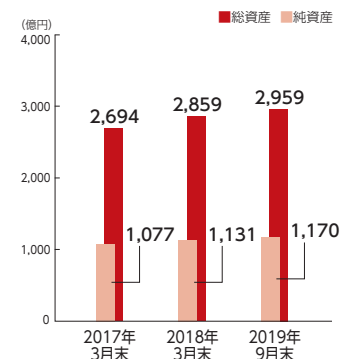
(各数値は店舗数。円グラフの大きさは県別店舗総数に拠る)



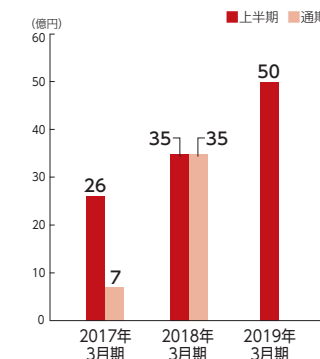
親会社株主に帰属する当期純利益



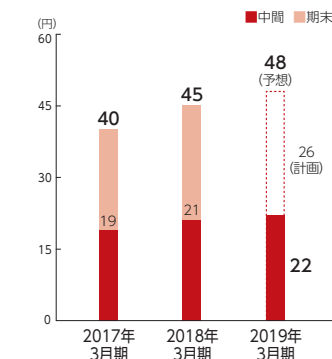
総資産／純資産



フリー・キャッシュ・フロー

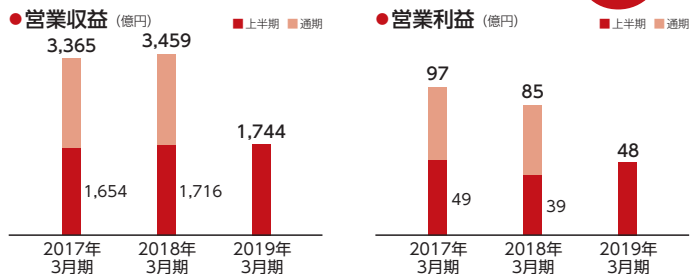


1株当たり配当金



スーパーマーケット(SM)事業

●営業収益割合 **62.4%**

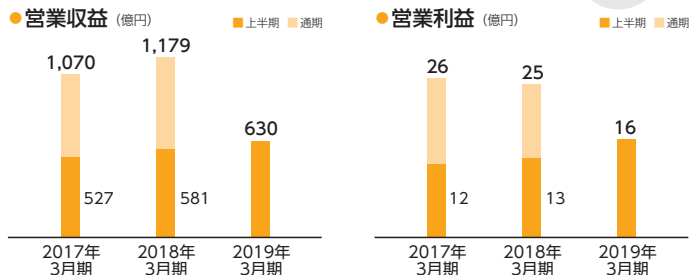


営業収益 **1,744億18百万円** 営業利益 **48億65百万円**

SM事業の営業収益は1,744億18百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は48億65百万円（前年同四半期比23.7%増）となりました。中核の株式会社パローでは、商品の魅力で商圏拡大や地域シェアの向上を図ろうと、岐阜県を中心に14店舗で改装を行いました。2018年4月に増床した「SMパロー瑞浪中央店」（岐阜県瑞浪市）では、精肉売場を大幅に拡張したほか、7月に移転新設した「SMパロー下恵土店」（岐阜県可児市）では、生鮮・惣菜を主軸に売場を構成するなかで、グループで調達・製造・加工した商品の魅力を訴求しました。店舗につきましては、2店舗を新設、2店舗を閉鎖したほか、2018年8月に滋賀県でSM3店舗を展開する株式会社フタバを子会社化し、当第2四半期末現在のSM店舗数はグループ合計284店舗となりました。同事業では、株式会社パローの既存店売上高が前年同四半期比で0.4%減少したものの、前期から当期にかけて開設した店舗や子会社化した食品製造業が寄与し、増収となりました。売上総利益率の改善やグループ横断的に進めた経費管理の効果により、増益を確保しました。

ドラッグストア事業

●営業収益割合 **22.5%**

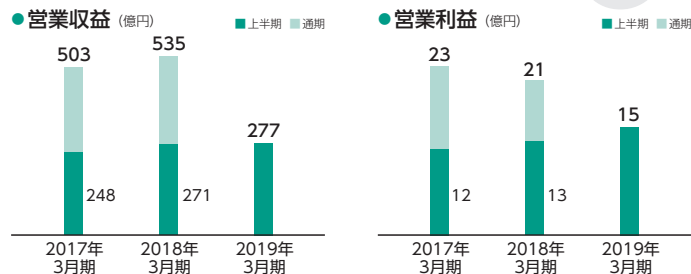


営業収益 **630億1百万円** 営業利益 **16億37百万円**

ドラッグストア事業の営業収益は630億1百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は16億37百万円（前年同四半期比18.3%増）となりました。同事業におきましては、愛知県・岐阜県を中心に18店舗を新設、リロケーションに係る4店舗を含む計6店舗を閉鎖し、当第2四半期末現在の店舗数は373店舗となりました。2018年4月に「V・drug岩村店」（岐阜県恵那市）、7月には「V・drug日進栄店」（愛知県日進市）など計3店舗を移転新設し、医薬品・化粧品等の品揃えを充実させました。同事業では食品、医薬品・化粧品が伸張したほか、調剤部門が診療報酬改定の影響を受けながらも底堅く推移し、既存店売上高は前年同四半期比で3.5%増加しました。前期から当期にかけて開設した店舗も寄与した結果、経費率の低減に繋がりと、増収増益となりました。

ホームセンター(HC)事業

●営業収益割合 **9.9%**



営業収益 **277億19百万円** 営業利益 **15億73百万円**

HC事業の営業収益は277億19百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は15億73百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。同事業につきましては、建築資材や農業資材を拡充して専門性を追求するとともに、「地域一番店」を目指し、自動車タイヤの交換やペット、アウトドア用品など、「暮らし」を支えるカテゴリーを強化しました。同事業において店舗数の増減はなく、当第2四半期末現在の店舗数は36店舗となっております。同事業では、建築資材や工具・金物などが伸張し、既存店売上高が前年同四半期比で1.4%増加し、事業全体で増収となるとともに、建築資材やタイヤ、アウトドア用品が売上総利益率を押し上げ、増益を確保しました。

スポーツクラブ事業

●営業収益割合 **2.3%**

営業収益 **64億26百万円** 営業利益 **2億92百万円**

スポーツクラブ事業につきましては、低投資かつ月会費を抑えたフィットネスジム「Will_G（ウィルジー）」の出店を加速し、総合スポーツクラブ、テニスクラブ各1店舗を含む計25店舗（うちFC運営は6店舗）を新設した結果、当第2四半期末現在の店舗数は120店舗（うちFC運営は13店舗）となりました。同事業では、会員数が順調に増加したものの、新設店の直営比率がまだ高く、増加した開業費用を吸収しきれず、増収減益となりました。

流通関連事業

●営業収益割合 **1.8%**

営業収益 **48億96百万円** 営業利益 **17億9百万円**

物流、資材卸売、設備メンテナンスなど、流通に関わる事業に携わるグループ企業では、経費削減や環境負荷低減に繋がる設備導入を進めるとともに、規模拡大に対応するためのインフラの改善やサービスレベルの維持向上に努めました。

その他の事業

その他の事業には、ペットショップ事業、衣料品等の販売業及び保険代理店などが含まれております。ペットショップ事業において店舗数の増減はなく、当第2四半期末現在の店舗数は21店舗となっております。

会社概要

会社名	株式会社パローホールディングス
設立	1958年7月 (2015年10月1日付で「株式会社パロー」より商号変更)
事業内容	チェーンストア事業およびそれに関する事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理
所在地	本部：岐阜県多治見市大針町661番地の1
資本金	119億16百万円
グループ従業員数	社員：6,368名 パート・アルバイト等：16,841名 (8時間換算、期中平均)

役員

氏名	役職	その他重要な役職の兼務
田代 正美	代表取締役会長兼社長	
横山 悟	取締役副社長	(株式会社アクトス 代表取締役会長 株式会社パロー 取締役副社長)
篠花 明	常務取締役	(株式会社コアサポート 代表取締役社長)
志津 幸彦	取締役	財務経理部長兼情報システム部長
森 克幸	取締役	(株式会社タチャ 代表取締役会長 株式会社パロー 常務取締役)
米山 智	取締役	総合企画室長
設楽 雅美	取締役	(株式会社パロー 取締役商品部長 株式会社公正屋 代表取締役社長)
和賀登 盛作	取締役	(株式会社ホームセンターパロー 代表取締役社長)
山下 隆夫	取締役	無店舗販売事業部 部長
高巢 基彦	取締役	(中部薬品株式会社 代表取締役社長)
高崎 治	取締役	常勤監査等委員
増田 陸奥夫	社外取締役	監査等委員
秦 博文	社外取締役	監査等委員
伊藤 時光	社外取締役	監査等委員



株式数及び株主数

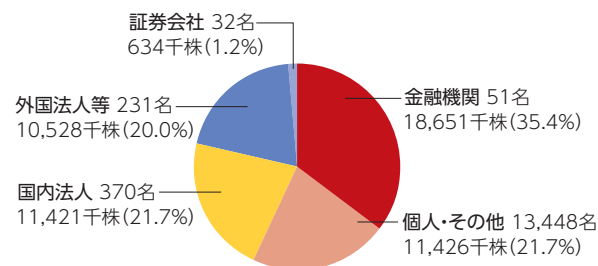
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	52,661,699株
株主数	14,132名

大株主

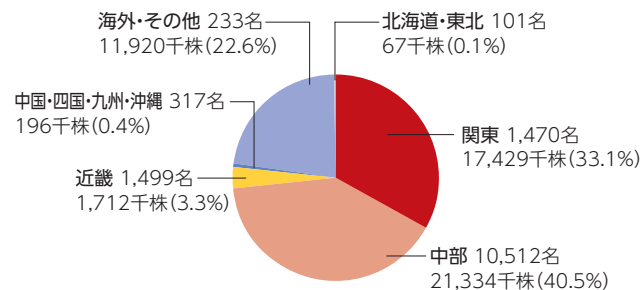
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人伊藤青少年育成奨学会	2,910	5.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,594	4.9
農林中央金庫	2,542	4.8
株式会社十六銀行	2,536	4.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,984	3.7
田代正美	1,554	2.9
株式会社子雲社	1,326	2.5
株式会社三菱UFJ銀行	1,256	2.3
中部エージェント株式会社	1,103	2.0
田代久美子	900	1.7

注：自己株式を除く

所有者別株式の分布状況



地域別株式の分布状況



株主優待制度変更のご案内

毎年3月31日現在の所有株式数100株以上の株主様に対し、株主優待品を贈呈しております。これまで優待品は、バローグループ商品券または当社オリジナル商品の詰合せのいずれかを選択いただいておりますが、**2018年3月31日現在の株主名簿に**記載された株主様より、当社が発行する**プリペイド式電子マネー「Lu Vit (ルビット) カード」**に保有株式数および継続保有期間に応じた下記金額をチャージした**「ギフトカード」**を贈呈することに変更しております。



「Lu Vit (ルビット) カード」

保有株式数	100株～499株	500株～999株	1,000株以上
1年未満保有	1,000円	1,500円	3,000円
1年以上保有	1,500円	3,000円	6,000円

- (注) 1. 保有株式数および継続保有期間による贈呈金額の基準についての変更はございません。
2. 本ギフトカードは、株式会社ジェーシービーのプリペイドスキームJCB PREMO (ジェーシービープレモ) を搭載しており、バローグループ主要店舗のほか、百貨店・家電量販店・コンビニエンスストア等、約30万店のJCB PREMO加盟店でご利用いただけます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事情により電子公告ができない場合、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	http://valorholdings.co.jp/ir/koukoku/

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座をお持ちでなかった株主様につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 **バロー** ホールディングス

本部
岐阜県多治見市大針町661番地の1
TEL 0572-20-0860 (代表)
ホームページ
<http://valorholdings.co.jp>



この報告書は、森林認証を受けたFSC®認証紙、及び、植物油インキを使用しています。

